

**平成 2 3 年度****学生募集要項****一般選抜（前期日程・後期日程）****平成 2 3 年 4 月入学**

	前 期 日 程	後 期 日 程
出願期間	平成 2 3 年 1 月 2 4 日 (月) ~ 2 月 2 日 (水)	
試験期日	平成 2 3 年 2 月 2 5 日 (金) ・ 2 6 日 (土)	平成 2 3 年 3 月 1 2 日 (土) ・ 1 3 日 (日)
合格者発表日	平成 2 3 年 3 月 9 日 (水)	平成 2 3 年 3 月 2 3 日 (水)
入学手続日	平成 2 3 年 3 月 1 4 日 (月) ・ 1 5 日 (火)	平成 2 3 年 3 月 2 7 日 (日)

東京工業大学 ～世界最高の理工系総合大学を目指して～

□ 東工大は

東京工業大学（東工大、Tokyo Institute of Technology）は1881年設置の東京職工学校、蔵前にあった東京高等工業学校を経て1929年に大学になりました。2011年には創立130年を迎えます。本学は学部学生、大学院学生合わせて約1万人、教職員約2千人を有する、我が国最大の理工系大学です。常に時代の最先端を切り拓き、“頼りになる大学”の役割を果たしてきました。

新しい将来構想として「東工大ビジョン2009」を策定し「知(ち)、技(わざ)、志(こころざし)、和(わ)の理工人」を育成することを基本方針として、世界的な視野に立って大学力を高め、社会に貢献しうる分野を重点的に強化するとともに新しい価値の創造に挑戦し、発展を目指します。

□ ものづくりから創造へ

東工大は創造性豊かな教育によって、ノーベル賞受賞者の白川英樹博士をはじめ、数多くの優れた人材を世に送り出してきました。この実績をもとに、確かな基礎力を修得した「創造型人間」の育成を目指しています。“ものづくり教育研究支援センター”を土壌とし、実践の場で“ものづくり”に自主的・主体的に取り組む、確かな基礎学力と深い専門性の修得を訓練する独自のプログラムもあります。サークルの一つであるマイスターが製作した人力飛行機もその一例です。時代の激しい変化に柔軟に対応する適応能力、人と人とを結びつける統合力をもつ人材の養成が東工大の大きな使命です。

□ 東工大で学べるもの

東工大には、学部（理学、工学、生命理工学）、大学院研究科（理工学(理学系、工学系)、生命理工学、総合理工学、情報理工学、社会理工学、イノベーションマネジメント）があり、理工学に関するあらゆる分野が学べます。また、統合研究院のもとに研究所（資源化学、精密工学、応用セラミックス、原子炉工学、像情報工学）、そして数多くの研究教育施設・センターにより、社会、産業界の要請に応じてきました。「理工へ行くなら東工大」、「学生を採用するならまず東工大」です。

□ 世界のフロンティアをひらく研究

東工大は先端科学技術、融合領域、新規領域に意欲的に取り組んでいます。多様な分野で多彩な教授・准教授・講師・助教の教員群、研究員が国際的に活躍し、グローバル社会を先導する役割を果たしています。

文部科学省の21世紀COE (Center of Excellence) は、東工大が誇る最も強い研究分野に設けられ、世界

の研究教育拠点を目指しました。12のCOEでは、世界最高水準の研究のもとで、博士課程の大学院教育システム改革を、研究科を越えて行いました。

後継事業のグローバルCOEには、2007年度に5チーム、2008年度に3チーム、2009年度には1チームが採択され、合計9チームが活動しています。

2005年に文部科学省スーパーCOEによる“統合研究院”を設立しました。社会・産業が抱える重要課題解決を図るためです。2010年より新しい統合研究院として、学内外の連携を強め組織的に取り組む東工大発の「ソリューション研究」も推進しています。

また2008年度には文部科学省の科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」や「イノベーション創出若手研究人材養成事業」を進めています。

□ 特徴ある文系・芸術系教育

東工大では、理工系の専門教育だけでなく、特徴ある文系科目が充実しているのも伝統です。2006年には「世界文明センター」を発足させ、文学、音楽、美術、映像などが学べる仕組みをつくりました。

□ 東工大の得意わざ

2006年にはスーパーコンピュータ“TSUBAME”が完成しました。世界でもトップレベルの計算速度を有するコンピュータで、2010年11月には世界最速に向けて進化します。

世界に開かれた若手研究者のためのGlobal Edge Institute、国際的リーダーシップの育成を目指して中国・清華大と合同大学院を開設したのに加え、さまざまな国際連携、組織的・戦略的な産学連携などを実施しています。東工大の扉は、世界に向かって開かれています。

東工大は世界大学ランキング（2010年QS）によると、総合では世界第60位、日本第4位にランクされています。

□ 活発なサークル活動

東工大は研究、教育だけでなく、仲間が力を合わせて高いレベルを目指すサークル活動も活発です。

2010年の人力飛行機「鳥人間コンテスト」の4度目の優勝や混声合唱団の12年連続金賞など、その実績はすばらしいものがあります。これらサークル活動に対する国内外での高い評価は、全学教職員、学生を挙げてのなみなみならぬ努力の成果です。

東工大は研究・教育の特徴を最大限に活用し、社会と世界の期待に応えます。

どうぞ、東工大にご注目ください。

目 次

東京工業大学 ～世界最高の理工系総合大学を目指して～

I	募集人員	1
II	出願資格	2
III	選抜における注意事項	3
IV	出願期間等	3
V	前期日程	
-1	出願手続	4
-2	入学者選抜方法	7
-3	第2段階選抜合格者発表	9
VI	後期日程	
-1	出願手続	10
-2	入学者選抜方法	13
-3	第2段階選抜合格者発表	18
VII	前期・後期日程共通事項	
-1	入学手続等について	19
-2	追加合格について	20
-3	障害等の事前相談について	20
-4	個人情報の取り扱いについて	20
-5	入試情報の提供について	21
-6	奨学金, 入学料・授業料免除等	22
VIII	平成24年度入学者選抜における「大学入試センター試験」 利用教科・科目について(予告)	24
IX	平成24年度入学者選抜試験の変更について(予告)	25
X	記入要領	

アドミッションポリシー 創り拓く理系人たれ

I 募集人員

学部	類	類募集人員	募集人員		所属可能な学科及びその人員
			前期日程	後期日程	
理学部	第1類	185	165	—	数学 25
					物理学 54
					化学 37
					情報科学 34
					地球惑星科学 35
工学部	第2類	85	72	13	金属工学 33
					有機材料工学 20
					無機材料工学 30
					社会工学 2
	第3類	108	92	16	化学工学 65
					高分子工学 30
					経営システム工学 11
					社会工学 2
	第4類	201	171	30	機械科学 47
					機械知能システム学 40
					機械宇宙学 40
					制御システム工学 25
					経営システム工学 25
					国際開発工学 20
					社会工学 4
	第5類	201	171	30	電気電子工学 77
					情報工学 102
					制御システム工学 18
					社会工学 4
	第6類	95	73	A:12	土木・環境工学 29
建築学 45					
B:10				社会工学 21	
生命理工学部	第7類	153 (150)	118	35	生命科学 75
					生命工学 75
					社会工学 3
計		1,028	862	146	

※ 第1類(理学部)においては、特別入学資格試験で20人を募集します。同選考の結果、期待する水準に達した者が少なく、合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を前期日程の募集人員に加ええます。

※ 生命理工学部の入学定員は150名ですが、第7類は工学部社会工学科分3名を含め、153名の募集となります。「所属可能な学科及びその人員」欄は、2年次に所属可能な学科とその人数を示します。経営システム工学科へは第3類および第4類から、制御システム工学科へは第4類と第5類から所属できます。社会工学科へは、第2類～第6類(工学部)および第7類(生命理工学部)の各類から合計36名が所属できます。(社会工学科ホームページ <http://www.soc.titech.ac.jp/departament/index.html>)

※ 第6類後期日程試験では、第6類Aとして12名、第6類Bとして10名を募集します。第6類Aに合格した者は、2年次に土木・環境工学科、建築学科、社会工学科のいずれかに所属します。一方、第6類Bに合格した者は、2年次に建築学科に優先的に所属します。なお、出願する際に、どちらかを選択してください。

Ⅱ 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、平成23年1月15日（土）・16日（日）に実施する**平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）の教科・科目のうち、本学が指定した受験を要する教科・科目をすべて受験した者**が出願できます。

また、本学における大学入試センター試験の成績の利用については、平成23年度大学入試センター試験の成績のみを利用し、1年前のもの（平成22年度大学入試センター試験の成績）は利用しませんので注意してください。

なお、出願資格に不明な点がある場合には、出願前に入試課へ照会願います。

- 1 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成23年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程（又は相当する課程）を有するものとして認定（又は指定）した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成23年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
 - (4) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - (5) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）及び平成23年3月31日までに合格見込の者で、平成23年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成23年3月31日までに18歳に達するもの

[注] 出願資格3の(6)による出願者は、事前に出願資格審査を行いますので、入試課に連絡（電話 03-5734-3990）の上、必要書類をそろえて下記の期間に申請してください。

申請書類は、本学ホームページから印刷できます。

- 申請期間
- ・大学入試センター試験対象：申請期間終了
 - ・前期日程・後期日程対象：平成23年1月11日（火）
～1月19日（水）17時まで
 - ・大学入試センター試験追試験受験者のみ対象：
平成23年1月24日（月）17時まで

※大学入試センター試験追試験許可書を提示すること。

Ⅲ 選抜における注意事項

- 1 選抜は、分離分割方式により前期日程と後期日程に分けて行います。出願に当たって前期日程は、第1志望と第2志望の2つの類を志望できますが、後期日程で志望できる類は1つです。
前期日程と後期日程の学内併願は、どの類との組合せも可能です。
- 2 分離分割方式の他の大学・学部への併願は、「前期－後期」は認められますが、「前期－前期」,
「後期－後期」の併願は認められません。
- 3 本学については、試験日程ごとに合格者を決定します。
- 4 本学又は他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）
の「前期日程」試験に合格し、その入学手続を行った者は、本学の「後期日程」に出願して受験
しても合格者とはなりません。
(公立大学協会ホームページ <http://www.kodaikyo.org/>)
- 5 他の国公立大学・学部の推薦入試合格者は、当該推薦入試を実施する大学・学部の定める推薦
入学辞退手続により平成23年2月15日（火）までに入学の辞退を許可された場合を除き、
本学を受験しても合格者とはなりません。
- 6 他の国公立大学・学部のAO入試合格者は、当該AO入試を実施する大学・学部の定めるAO
入試の入学辞退手続により平成23年2月15日（火）までに入学を辞退した場合を除き、本学
を受験しても合格者とはなりません。
- 7 本学の第1類（理学部）特別入学資格試験に合格した者は、本学の前期・後期日程試験に出願
することができません。
- 8 本学入学者選抜等に関する最新情報は、ホームページ（巻末参照）で公表しますので、志願者
は注意してください。

Ⅳ 出願期間等

- 1 出願書類等の提出は「**速達書留郵便**」に限ります。試験日程毎のページをよく読み、書類に
誤りがないよう注意してください。
出願は、本学所定の封筒を使用し、**下記期間内に必ず到着するようにしてください。**

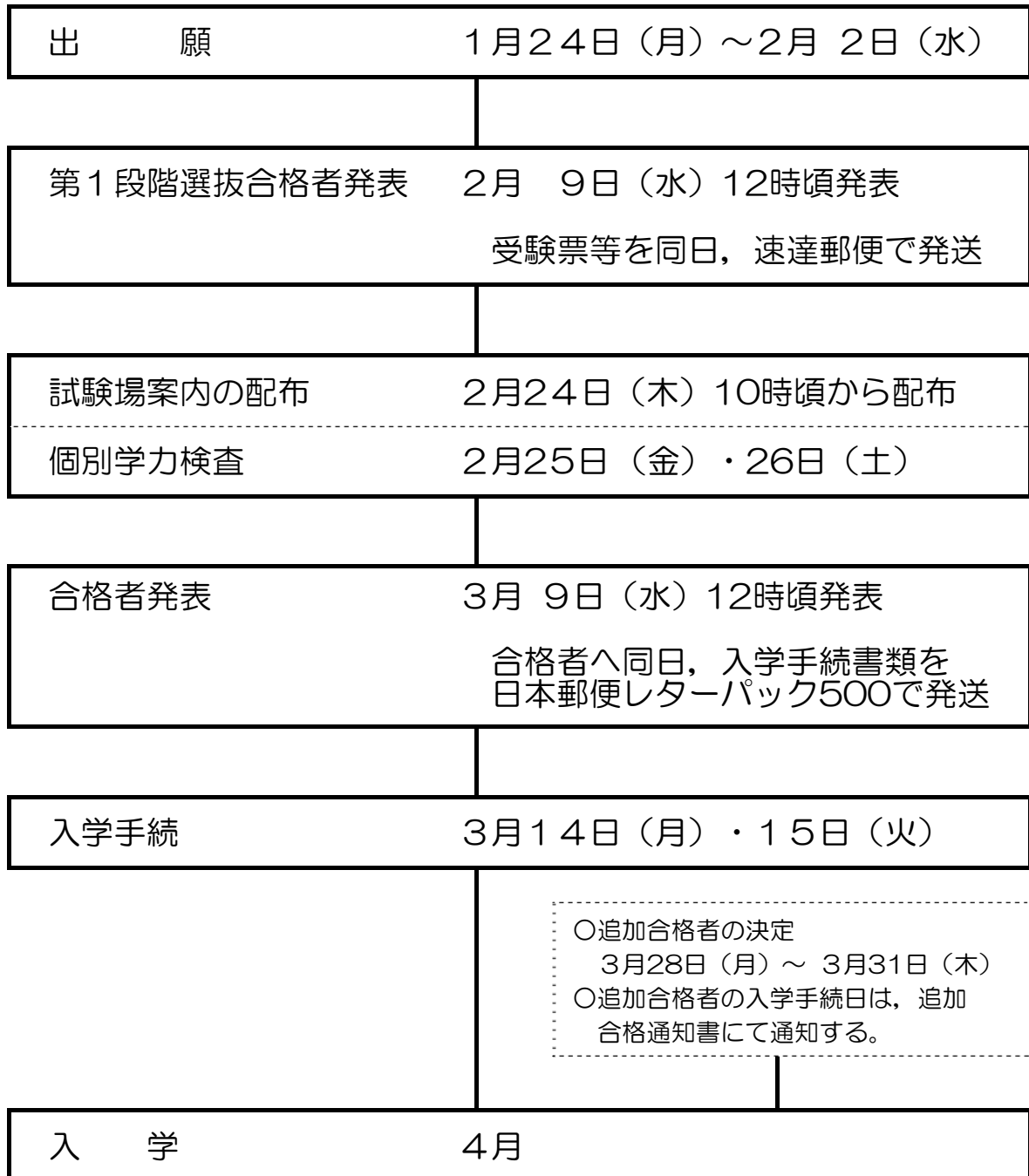
出願期間（前期日程及び後期日程）

平成23年1月24日（月）～2月2日（水）（2月2日（水）必着）

- 2 障害等のある志願者は、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とすることがありますので、
「Ⅶ-3 障害等の事前相談について」により、あらかじめ本学入試課に申し出てください。
- 3 志願者に対する宿泊施設の紹介等は入試課では行いません。本学生協で旅行会社を紹介して
いますのでお問い合わせください。
本学生協ホームページ <http://www.titech-coop.or.jp> 電話03-3727-7357

V 前期日程

出願手続から入学までの日程（前期日程）



V-1 出願手続 『提出は郵送に限る』

1 出願期間 平成23年1月24日(月)～2月2日(水) (2月2日必着)

2 願書郵送方法 (郵送のみ受付)

出願書類等は、本学所定の封筒(黄色)に入れ、必ず「速達書留」扱いで郵送してください。

3 出願書類等

下記出願書類のうち、ア、イ、オ、カ、キ及びクは、本学所定のものを使用してください。

出願書類等	摘 要
ア 入学志願票・ 電算処理票	記入する際には、「X 記入要領」を参照してください。切り離れた場合は、テープ等で留めずに提出してください。
イ 確認はがき	必要箇所に受取人の郵便番号、住所及び氏名を記入し、確認はがきに 50円分の切手を貼ってください 。 出願書類の整理ができ次第、確認はがきを発送します。 なお、2月7日(月)までに届かない場合は入試課へ問い合わせてください。
ウ 大学入試 センター試験 成績請求票	大学入試センターから交付された平成23年度大学入試センター試験成績請求票のうち、『 前 国公立前期日程用』を電算処理票の所定欄に貼ってください。
エ 調 査 書	<p>① 2ページのⅡ出願資格1、2及び3の(2)によって出願する者は、「平成23年度大学入学者選抜実施要項」(文部科学省通知)に基づき、出身学校長が所定の様式により作成したもので、必ず厳封したものを提出してください。</p> <p>② 高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧大学入学資格検定合格者を含む。以下同じ。)は、その合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。なお、高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者のうち、資格検定の受験科目の一部について検定を免除された者は、学校長が発行した単位修得(見込)証明書(厳封されたもの)を併せて提出してください。</p> <p>③ ①及び②以外の者は、出願資格を有することの証明書及び成績証明書をもって調査書に代えることができます。(大学入試センター試験受験案内の6～10ページを参照してください。)</p> <p>④ やむを得ない事情により、調査書を提出することができない者は次によることとします。</p> <p>(ア) 廃校、被災その他の事情により、出身学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿、その他入学志願者が提出できる書類をもって、調査書に代えることができます。</p> <p>(イ) 本人が被災等により、(ア)の書類をも整えられない場合は、出身学校を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこの内容を証明できる書類を提出してください。</p>

オ 入学検定料	<p>17,000円を別添の払込取扱票（前期・後期同様の様式）にて郵便局・ゆうちょ銀行又は金融機関（三井住友銀行を利用した場合、手数料無料）の<u>窓口で払い込み</u>、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を電算処理票の所定の貼り付け欄に貼付してください。</p> <p>※ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。</p> <p>※一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。</p> <p>ただし、第1段階選抜の不合格者には、13,000円を返還します。返還方法については、第1段階選抜の結果通知の際にお知らせします。</p> <p>※入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により罹災し、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。詳しくは、出願期間前に入試課まで問い合わせてください。</p>
カ 連絡用封筒	<p>志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、360円分の切手を貼ってください。</p>
キ 送付用封筒	<p>個人別成績の提供希望者は、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、380円分の切手を貼ってください。</p>
ク 住所票	<p>合格通知等発送用に使用します。必ず全ての欄に記入してください。</p> <p>※出願後、住所が変更になった場合は、入試課に申し出ることと最寄りの郵便局に転居届を提出してください。</p>
ケ その他 (該当者のみ)	<p>① 日本国籍を有しない者は、登録原票記載事項証明書又はビザのコピーを提出してください。</p> <p>② 出願資格審査により認定された者は、「出願資格審査の結果について（通知）」のコピーを提出してください。</p>

4 入学志願票等記入に当たっての注意事項

※「X 記入要領」を参照し記入してください。

(1) 「志望類」

前期日程では、第2志望まで志望できます。

第2志望を記入した場合は、第1志望で不合格となっても、第2志望で合格することもあります。

第2志望を志望しない場合は、第2志望枠内に必ず「なし」と記入してください。

なお、未記入の場合は、第2志望「なし」として取り扱いますので注意してください。

(2) 「平成23年度大学入試センター試験受験教科・科目の確認欄」

「X 記入要領」の「大学入試センター試験受験教科・科目の確認表（前期日程）」（以下「確認表」という。）を参照し、記入してください。

本学が指定する大学入試センター試験受験教科・科目（7ページ）を確認しながら、指定する教科・科目を受験したか「確認表」でチェックしてください。

「確認表」の「記入欄」に1つでも×印が付いた場合は、いずれの類にも出願することができません。

5 出願時の注意事項

- (1) 分離分割方式の「前期日程」に属する他の大学・学部への併願はできません。
- (2) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (3) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。なお、志望類、受験する外国語等の記載内容が、入学志願票の内容と電算処理票等他の書類とでそれぞれ異なる場合は、入学志願票により処理します。志願者本人には一切照会しませんので、記入時には十分注意してください。
- (4) 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (5) 出願後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者には、13,000円を返還します。

V-2 入学者選抜方法

1 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験，調査書及び本学が実施する学力検査（以下「個別学力検査」という。）の成績によって行います。

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

志願者は、次表の本学が指定した「**大学入試センター試験の受験を要する教科・科目**」を**全て受験していなければなりません。**

教科	科目
国語	国語
地理歴史・公民	世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理，政治・経済から1科目
数学	数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B，工業数理基礎から1科目 } 合計2科目
理科	物理Ⅰ，地学Ⅰ，化学Ⅰ，生物Ⅰから2科目
外国語	英語(リスニングを含む)，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1科目

注1. 工業数理基礎を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけです。

注2. 「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した場合には、高得点の科目を用いることとします。

注3. 「理科」の中から3科目を受験した場合には、高得点の上位2科目を用いることとします。

3 2段階選抜

(1) 第1段階選抜

ア 志願者総数が総募集人員の**約5倍を超えた場合**には、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行うことがあります。

第1段階選抜における大学入試センター試験の各教科の配点は、下表のとおりです。

教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
配点	100	50	200	200	100	650

イ 第1段階選抜の実施について、**平成23年2月9日（水）12時頃**から本学ホームページに掲載します（PDF形式）。合格者の発表は、本学で交付した**確認はがきの整理番号**で行います。

ウ 第1段階選抜を実施した場合は合格者に対して、実施しない場合は志願者に対して、**2月9日（水）**に受験票，写真票及び個別学力検査に関する諸注意事項等を速達郵便で発送します。写真票には、縦4cm×横3cmの写真を貼ってください。（※）

なお写真は、はっきりと顔を確認できるものとするため、①正面向き，②無帽，③無背景，④眼鏡使用者は着用，⑤カラー（白黒不可），⑥光沢仕上（絹目不可），⑦枠なし，⑧出願前3か月以内に撮影したものを着用してください。

※ 本試験に合格し、入学手続きを行う者については、この写真票の顔写真を使用し、本学学生証を作成します。これは、学生証を速やかに発行するための措置となっておりますので、あらかじめご了解願います。（学生証は4年間有効のものとなりますので、服装等についてはご留意ください。）

不合格者には同日、その旨の通知書及び入学検定料の返還請求書を速達郵便で発送します。なお、2月14日（月）までに届かない場合は、2月15日（火）以降に入試課へ確認してください。

(2) 個別学力検査（第2段階選抜）

ア 個別学力検査当日は、**本学受験票、写真票**（試験時間内に回収）**及び大学入試センター試験受験票を必ず持参**してください。

また、個別学力検査に使用する番号は、受験番号（受験票左上に記載）です。

イ 試験日、教科等

試験日	平成23年2月25日（金）		平成23年2月26日（土）	
教科及び試験時間	数学 10:00～12:30 (150分)	外国語 14:00～15:30 (90分)	理科(物理) 10:00～12:00 (120分)	理科(化学) 13:30～15:30 (120分)

ウ 試験内容

教科	科目内容	必須・選択の別
数 学	「数学Ⅰ」, 「数学A」, 「数学Ⅱ」, 「数学B（数列, ベクトル）」, 「数学Ⅲ」, 「数学C（行列とその応用, 式と曲線）」を, その総合問題や応用問題も含めて, 『数学』として出題する。	必 須
理 科	「物理Ⅰ」の全範囲, および「物理Ⅱ」のうち, (1)「力と運動」, (2)「電気と磁気」, (5)「課題研究」の全部と(3)「物質と原子」の一部（ア「原子, 分子の運動」）とを合わせて『物理』として出題する。	必 須
	「化学Ⅰ」, 「化学Ⅱ」を合わせて『化学』として出題する。ただし, 「化学Ⅱ」の(2)「生活と物質」および(3)「生命と物質」からは, 選択問題等を用いて, これら項目の1つを学習しなかった受験生が不利にならないように配慮する。	必 須
外国語	「リーディング」, 「ライティング」を合わせて『英語』として出題する。	英語, ドイツ語, フランス語の中から 1つを選択
	ド イ ツ 語	
	フ ラ ン ス 語	

（注）外国語については、選択する科目名を入学志願票及び電算処理票の所定の欄に記入してください。記入した科目以外で受験することはできません。

エ 試験場

個別学力検査は、本学大岡山キャンパス及び田町キャンパス（本学附属科学技術高等学校）で行います。試験場は、受験票等発送時にお知らせします。

なお、志願者数によっては、田町キャンパスを使用しないこともあります。

全体の試験場案内（試験室の所在場所）を、大岡山キャンパスでは、正門守衛所付近にて平成23年2月24日（木）午前10時頃から試験日まで配布します。田町キャンパスでは、試験日当日のみの配布となります。本学ホームページにおいても同日同時刻より掲載します。

（注）試験場案内は、本人には直接通知しませんので、上記方法で確認してください。

オ 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点

教科・科目 試験区分	国 語	地理歴史 ・ 公 民	数 学	理 科		外国語	合 計
大学入試 センター試験	60	30	60	60		60	270
個別学力検査	—	—	250	物 理	化 学	150	700
				150	150		

V-3 第2段階選抜合格者発表

1 発表について

- (1) **平成23年3月9日(水)12時頃**から3月15日(火)まで、本学大岡山キャンパス講堂脇に掲示します。この掲示が正式なものですので必ず確認してください。
なお、受験者の便宜を図るため、3月9日(水)13時頃より本学ホームページにも掲載します(PDF形式)。
- (2) 合格者発表は、本学で交付した受験票左下に記載の**整理番号**で行います。
(整理番号は受験番号とは異なる番号です。間違えないよう十分注意してください。)
- (3) 合否に関する電話等による問い合わせには一切応じません。
また、試験当日に、学外(駅周辺、大学正門前)で行っている合否電報等の勧誘は、本学とは一切関係ないので十分注意してください。これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いません。

2 合格通知書及び入学手続書類について

平成23年3月9日(水)の合格者発表と同時に、合格者に対して合格通知書及び入学手続書類等をレターパック500(速達扱いの受取人手渡し郵便)で郵送します。

なお、3月11日(金)までに届かない場合は、3月12日(土)に入試課へ問い合わせてください。

3 入学手続について

- (1) 前期日程試験合格者で本学に入学を希望する者は、所定の手続きを完了してください。
なお、他の国公立大学・学部に入學手続を行った者は、これを取り消して本学に入學手続を行うことができません。
- (2) 手続日時・場所
平成23年3月14日(月)、15日(火)
両日とも9時~12時、13時~15時 本学大岡山キャンパス体育館

[注1] **平成23年3月15日(火)15時まで**に入學手続を行わなかった者は、入學を辞退したのものとして取り扱い、これ以降の入學手続は一切認められません。

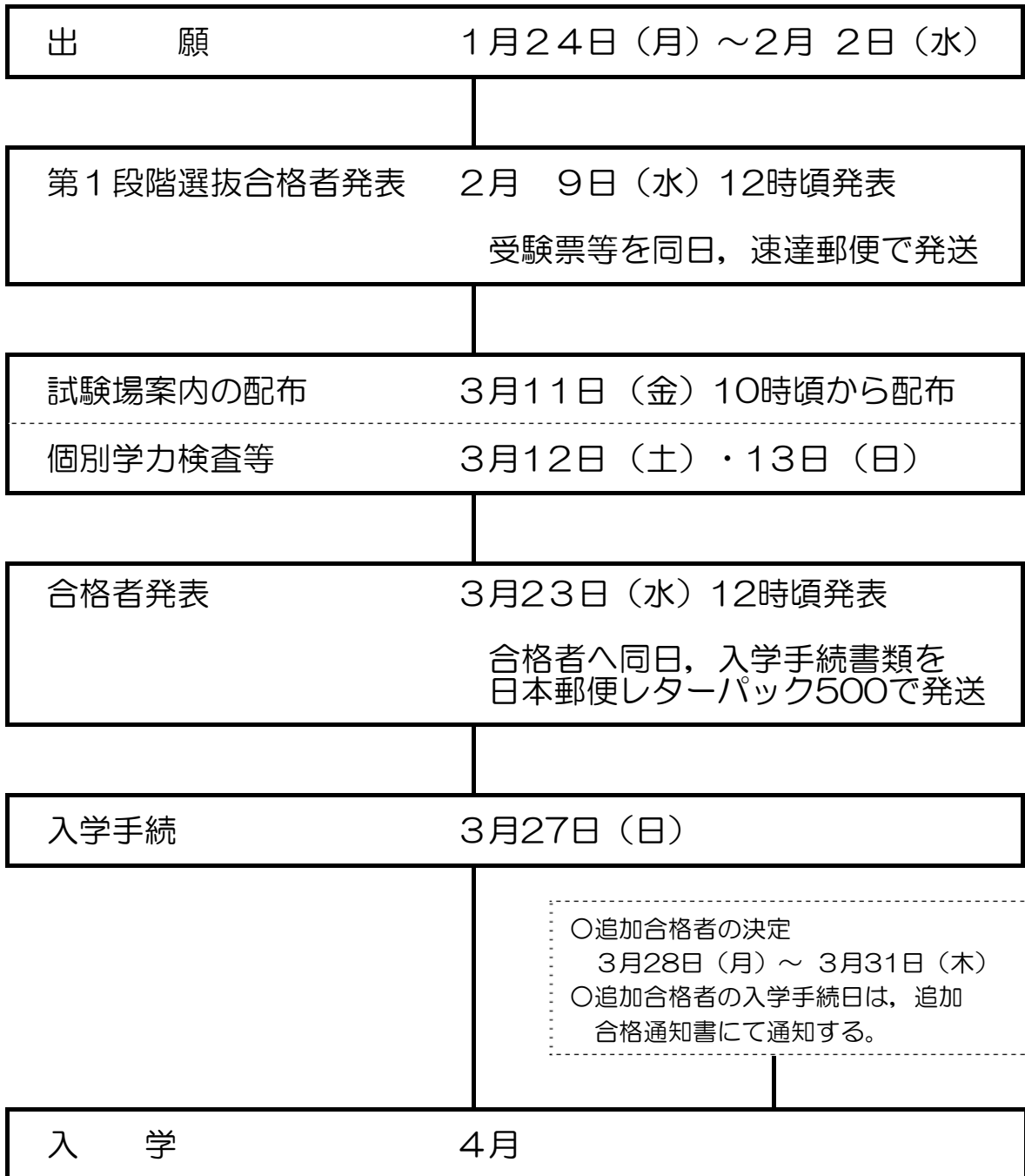
[注2] 郵送による入學手続について(希望者のみ)

来学による入學手続ではなく、郵送による入學手続を希望する場合は、事前に(合格発表後、3月11日(金)17時まで)大学に電話連絡したうえで、3月15日(火)必着とし、必要書類を郵送(速達書留)してください。電話連絡が無く、かつ必要書類が期限までに届かない場合は、入學を辞退したのものとして取り扱い、これ以降の入學手続は一切認められません。

- (3) 手続事項は、合格者に送付する「学部入學手続説明書」を参照してください。
当日までに必要な事項、授業料、入學式等については、「VII-1 入學手続等」をご覧ください。
- (4) 前期日程試験の合格者で入學手続を行った者は、「後期日程」を受験していてもその合格者とはなりません。

VI 後期日程

出願手続から入学までの日程（後期日程）



VI-1 出願手続 『提出は郵送に限る』

1 出願期間 平成23年1月24日(月)～2月2日(水) (2月2日必着)

2 願書郵送方法 (郵送のみ受付)

出願書類等は、本学所定の封筒(水色)に入れ、必ず「速達書留」扱いで郵送してください。

3 出願書類等

下記出願書類のうち、ア、イ、オ、カ、キ及びクは、本学所定のものを使用してください。

出願書類等	摘 要
ア 入学志願票・ 電算処理票	記入する際には、「X 記入要領」を参照してください。切り離れた場合は、テープ等で留めずに提出してください。
イ 確認はがき	必要箇所に受取人の郵便番号、住所及び氏名を記入し、確認はがきに 50円分の切手を貼ってください 。 出願書類の整理ができ次第、確認はがきを発送します。 なお、2月7日(月)までに届かない場合は入試課へ問い合わせてください。
ウ 大学入試 センター試験 成績請求票	大学入試センターから交付された平成23年度大学入試センター試験成績請求票のうち、『 後 国公立後期日程用 』を電算処理票の所定欄に貼ってください。
エ 調 査 書	① 2ページのⅡ出願資格1, 2及び3の(2)によって出願する者は、「平成23年度大学入学者選抜実施要項」(文部科学省通知)に基づき、出身学校長が所定の様式により作成したもので、必ず厳封したものを提出してください。 ② 高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧大学入学資格検定合格者を含む。以下同じ。)は、その合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。なお、高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者のうち、資格検定の受験科目の一部について検定を免除された者は、学校長が発行した単位修得(見込)証明書(厳封されたもの)を併せて提出してください。 ③ ①及び②以外の者は、出願資格を有することの証明書及び成績証明書をもって調査書に代えることができます。(大学入試センター試験受験案内の6～10ページを参照してください。) ④ やむを得ない事情により、調査書を提出することができない者は次によることとします。 (ア) 廃校、被災その他の事情により、出身学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿、その他入学志願者が提出できる書類をもって、調査書に代えることができます。 (イ) 本人が被災等により、(ア)の書類をも整えられない場合は、出身学校を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこの内容を証明できる書類を提出してください。

オ 入学検定料	<p>17,000円を別添の払込取扱票（前期・後期同様の様式）にて郵便局・ゆうちょ銀行又は金融機関（三井住友銀行を利用した場合、手数料無料）の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を電算処理票の所定の貼り付け欄に貼付してください。</p> <p>※ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。</p> <p>※一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。</p> <p>ただし、第1段階選抜の不合格者には、13,000円を返還します。返還方法については、第1段階選抜の結果通知の際にお知らせします。</p> <p>※入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により罹災し、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。詳しくは、出願期間前に入試課まで問い合わせてください。</p>
カ 連絡用封筒	<p>志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、360円分の切手を貼ってください。</p>
キ 送付用封筒	<p>個人別成績の提供希望者は、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、380円分の切手を貼ってください。</p>
ク 住所票	<p>合格通知等発送用に使用します。必ず全ての欄に記入してください。</p> <p>※出願後、住所が変更になった場合は、入試課に申し出ることと最寄りの郵便局に転居届を提出してください。</p>
ケ その他 (該当者のみ)	<p>① 日本国籍を有しない者は、登録原票記載事項証明書又はビザのコピーを提出してください。</p> <p>② 出願資格審査により認定された者は、「出願資格審査の結果について（通知）」のコピーを提出してください。</p>

4 入学志願票等記入に当たっての注意事項

「X 記入要領」を参照し記入してください。

(1) 「志望類」

第6類を志望する者は、出願する際に「第6類A」もしくは「第6類B」を必ず選択してください。（「I 募集人員」の注意書きを参照）

(2) 「平成23年度大学入試センター試験受験教科・科目の確認欄」

「X 記入要領」の「大学入試センター試験受験教科・科目の確認表（後期日程）」（以下「確認表」という。）を参照し、記入してください。

志望する類の、本学が指定する大学入試センター試験受験教科・科目（13ページ）を確認しながら、指定する教科・科目を受験したか「確認表」でチェックしてください。

「確認表」の志望する類「記入欄」に1つでも×印が付いた場合は、志望する類に出願することができません。

5 出願時の注意事項

- (1) 分離分割方式の「後期日程」に属する他の大学・学部への併願はできません。
- (2) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (3) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。なお、志望類、受験する外国語等の記載内容が、入学志願票の内容と電算処理票等他の書類とでそれぞれ異なる場合は、入学志願票により処理します。志願者本人には一切照会しませんので、記入時には十分注意してください。
- (4) 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (5) 出願後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者には、13,000円を返還します。

VI-2 入学者選抜方法

1 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、調査書及び本学が実施する学力検査及び小論文・面接試験等（以下「個別学力検査等」という。）の成績によって行います。

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

志願者は、次表の本学が指定した「**大学入試センター試験の受験を要する教科・科目**」を**全て受験していなければなりません。**

【第2類】

教科	科目
国語	国語
地理歴史・公民	世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理，政治・経済から1科目
数学	数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B，工業数理基礎から1科目 } 合計2科目
理科	物理Ⅰ，化学Ⅰの2科目
外国語	英語(リスニングを含む)，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1科目

【第3類・第5類・第6類A及びB】

教科	科目
国語	国語
地理歴史・公民	世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理，政治・経済から1科目
数学	数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B，工業数理基礎から1科目 } 合計2科目
理科	物理Ⅰ，地学Ⅰ，化学Ⅰ，生物Ⅰから2科目
外国語	英語(リスニングを含む)，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1科目

【第4類・第7類】

教科	科目
数学	数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B，工業数理基礎から1科目 } 合計2科目
理科	物理Ⅰ，地学Ⅰ，化学Ⅰ，生物Ⅰから2科目
外国語	英語(リスニングを含む)，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1科目

注1. 工業数理基礎を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけです。

注2. 「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した場合には、高得点の科目を用いることとします。

注3. 「理科」の中から3科目を受験した場合には、高得点の上位2科目を用いることとします。

3 2段階選抜

(1) 第1段階選抜

ア 各類ごとの志願者数が募集人員の**約10倍を超えた場合は**、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行うことがあります。

第1段階選抜における大学入試センター試験の各教科の配点は、下表のとおりです。

教科 類	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計
第2類	100	50	200	200	200	750
第3類	—	—	200	200	200	600
第4類	—	—	120	120	60	300
第5類	100	50	200	200	100	650
第6類A	200	100	200	200	200	900
第6類B	200	100	200	200	200	900
第7類	—	—	150	300	150	600

イ 第1段階選抜の実施については、**平成23年2月9日（水）12時頃**から本学ホームページに掲載します（PDF形式）。合格者の発表は、本学で交付した**確認はがきの整理番号**で行います。

ウ 第1段階選抜を実施した場合は合格者に対して、実施しない場合は志願者に対して、**2月9日（水）**に受験票、写真票及び個別学力検査に関する諸注意事項等を速達郵便で発送します。写真票には、縦4cm×横3cmの写真を貼ってください。（※）

なお写真は、はっきりと顔を確認できるものとするため、①正面向き、②無帽、③無背景、④眼鏡使用者は着用、⑤カラー（白黒不可）、⑥光沢仕上（絹目不可）、⑦枠なし、⑧出願前3か月以内に撮影したものを着用してください。

※ 本試験に合格し、入学手続きを行う者については、この写真票の顔写真を使用し、本学学生証を作成します。これは、学生証を速やかに発行するための措置となっておりますので、あらかじめご了解願います。（学生証は4年間有効のものとなりますので、服装等についてはご留意ください。）

不合格者には同日、その旨の通知書及び入学検定料の返還請求書を速達郵便で発送します。なお、2月14日（月）までに届かない場合は、2月15日（火）以降に入試課へ確認してください。

(2) 個別学力検査等（第2段階選抜）

ア 個別学力検査等当日は、**本学受験票、写真票**（試験時間内に回収）**及び大学入試センター試験受験票を必ず持参**してください。

また、個別学力検査等に使用する番号は、受験番号（受験票左上に記載）です。

イ 試験日等

① 学力検査 試験日：平成23年3月12日（土）

（○印は、教科・科目のうち各類において課す教科・科目を示す。）

教科等 類	数 学 9:15～ 10:45 (90分)		外国語 11:30～ 12:30 (60分)		理科(物理) 13:40～ 15:00 (80分)		理科(化学) 15:50～ 17:10 (80分)
第2類	○	休 憩 (45分)	○	休 憩 (70分)	○	休 憩 (50分)	○
第3類	○		○		○		○
第4類	○		○		○		
第5類	○		○		○		
第6類A	○		○		(注)		
第6類B	○		○		(注)		
第7類	○		○		(注)		○

（注）第6類A及びB，第7類については，下記の試験内容等ですので注意してください。

② 小論文・面接試験等

試験日	類	試験時間等
平成23年 3月12日(土)	第6類A	小論文13:40～15:40 (120分)
	第6類B	課 題13:40～15:40 (120分)
	第7類	小論文13:40～15:00 (80分)
平成23年 3月13日(日)	第2類	面 接 9:30～
	第3類	小論文10:00～11:30 (90分)
	第4類	小論文10:00～12:00 (120分)
	第5類	小論文10:00～13:00 (180分)

ウ 試験内容

① 教科・科目

教科	科目内容	必須・選択の別
数 学	「数学Ⅰ」, 「数学A」, 「数学Ⅱ」, 「数学B (数列, ベクトル)」, 「数学Ⅲ」, 「数学C (行列とその応用, 式と曲線)」を, その総合問題や応用問題も含めて, 『数学』として出題する。	第2, 3, 4, 5, 6A・B, 7類 必 須
理 科	「物理Ⅰ」の全範囲, および「物理Ⅱ」のうち, (1)「力と運動」, (2)「電気と磁気」, (5)「課題研究」の全部と(3)「物質と原子」の一部(ア「原子, 分子の運動」)とを合わせて『物理』として出題する。	第2, 3, 4, 5類 必 須
	「化学Ⅰ」, 「化学Ⅱ」を合わせて『化学』として出題する。ただし, 「化学Ⅱ」の(2)「生活と物質」および(3)「生命と物質」からは, 選択問題等を用いて, これら項目の1つを学習しなかった受験生が不利にならないように配慮する。	第2, 3, 7類 必 須
外国語	「リーディング」, 「ライティング」を合わせて『英語』として出題する。	第2, 3, 4, 5, 6A・B, 7類 英語, ドイツ語, フランス語の中から1つを選択
	ド イ ツ 語	
	フ ラ ン ス 語	

(注) 外国語については, 選択する科目名を入学志願票及び電算処理票の所定の欄に記入してください。記入した科目以外で受験することはできません。

② 小論文・面接試験等

		内 容	必須・選択の別
第2類	面 接	自然科学に対する考え方等について試問し, 材料学を学ぶ上で必要な適性を判定・評価する。	必 須
第3類	小論文	自然科学に対する志と適性, 勉学・研究に必要な思考力と論理性を判定する。	必 須
第4類	小論文	創造力と発想力, 論理的思考力及び数学, 物理の応用力を問う。	必 須
第5類	小論文	数学と物理に関する設問(いずれも電気・情報工学の分野の基礎となる範囲より出題)について解答, 論述させ, 基礎的な考え方, 応用力を調べ, この分野への適性と能力を判定する。	必 須
第6類A	小論文	社会や環境に関わる公共的な問題に対して, 自ら問題の所在を整理し, 複数の解決策を提示・選択できる能力並びに表現の能力を試す。	必 須
第6類B	課 題 ※注	言語表現, 見取り図, 構成要素などの部分的な情報に基づいて, 立体や空間の全体構成を把握もしくは創造し, その内容を文章やスケッチ等を用いて, 第三者に理解できるように表現する能力を試す。	必 須
第7類	小論文	生物系と科学一般の2題から1題を選択して解答する。論理性及び表現力を問う。	必 須

(注) 第6類Bに関するホームページ

(<http://www.arch.titech.ac.jp/Japanese/Examination/Bachelor/index.html>)

エ 試験場

個別学力検査等は、本学大岡山キャンパスで行います。

なお、試験場案内（試験室の所在場所）は、平成23年3月11日（金）午前10時頃から試験日当日まで大岡山キャンパス正門守衛所付近で配布します。本学ホームページにおいても同日同時刻より掲載します。

（注）試験場案内は、本人には直接通知しませんので、上記方法で確認してください。

オ 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

区分 類	試験区分	教 科 ・ 科 目 等								
		国 語	地理歴史 ・ 公民	数 学	理 科		外国語	小論文 等	面 接	合 計
第2類	大学入試 センター試験	—	—	40	物理 20	化学 20	40	—	—	120
	個別学力検査	—	—	100	物理 100	化学 100	100	—	150	550
第3類	大学入試 センター試験	60	30	60	60		60	—	—	270
	個別学力検査	—	—	120	物理 120	化学 120	120	300	—	780
第4類	大学入試 センター試験	—	—	60	100		60	—	—	220
	個別学力検査	—	—	200	物 理 200		150	300	—	850
第5類	大学入試 センター試験	総 点 に 加 え な い								
	個別学力検査	—	—	200	物 理 200		200	300	—	900
第6類 A・B 共通	大学入試 センター試験	100	100	100	100		—	—	—	400
	個別学力検査	—	—	200	—		200	200	—	600
第7類	大学入試 センター試験	—	—	60	120		60	—	—	240
	個別学力検査	—	—	150	化 学 200		150	150	—	650

VII 前期・後期日程 共通事項

VII-1 入学手続等について

1 手続事項

詳しくは、合格者に送付する「学部入学手続説明書」（以下「手続説明書」という。）を参照してください。

(1) 手続前に準備するもの

① 大学入試センター試験受験票

② 入学料 282,000円（予定）は、所定の払込取扱票で手続日までに郵便局・ゆうちょ銀行及び金融機関（三井住友銀行を利用した場合、手数料無料）で払い込んでください。
なお、入学料免除を希望する者は、22ページの「入学料免除」を参照してください。

③ その他諸経費

ア セミナー経費（類によって異なる、15,000円程度）

イ 各種保険等（30,000円程度）

(2) 入学手続後、次のものを郵送により提出していただきますので、事前に準備してください。
（平成23年3月31日（木）必着）

① 高等学校卒業証明書等 1通

② 写真2枚（3.0cm(タ)×2.5cm(コ), 正面向き, 上半身, 脱帽, 3か月以内に撮影のもの（スナップ写真は不可））

手続き説明書とともに送付される“累加記録”，“助言記録カード”に貼付使用します。

2 授業料について

(1) 授業料前期分・後期分は、各267,900円（年額535,800円）の予定です。

(2) 前期分は5月末まで、後期分は11月末までに納付してください。

入学後、口座振替での納付となりますので、入学手続時に「預金口座振替依頼書」を提出してください。

(3) 授業料は希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせた年額を納付することができます。

(4) 授業料免除を希望する者は、22ページ「授業料免除」を参照してください。

(5) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

3 入学式、健康診断について

(1) 入学式は平成23年4月4日（月）に行う予定です。集合時間・場所等の詳細については、「学部入学手続説明書」を参照してください。

(2) 新入生の健康診断を入学式前に実施します。本学が指定した日時（「学部入学手続説明書」に記載）に、大岡山キャンパス保健管理センターにおいて全員が必ず受診してください。

VII-2 追加合格について

- 1 入学手続終了後、欠員が生じた場合は追加合格者の決定を行うことがあります。
この場合、本学の前期日程の合格者、後期日程の合格者で、それぞれの入学手続期間中に入学手続を行わなかった者は追加合格の対象となりません。
なお、追加合格を行うか否かについては、平成23年3月27日（日）18時頃に本学ホームページに掲載します。
- 2 追加合格者の発表は行いません。追加合格者に対しては「入学志願票」の「現住所・電話」あてに3月28日（月）以降3月31日（木）までの間に電話等で連絡します。

VII-3 障害等の事前相談について

受験又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ入試課へ相談してください。

特に、受験する際に特別措置が必要な者は、内容によっては対応に時間を要することもあるので、**出願前のできるだけ早い時期**に相談してください。日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も同様です。

点字又は代筆による解答を希望する者は、平成22年12月10日（金）までに申し出てください。申し出がなかった場合、特別措置による受験ができなくなることもありますので、十分に注意してください。

○申請方法

次の申請書等を提出してください。必要な場合は、本学において志願者又は出身学校関係者等との面談等を行います。

- ・申請書（本学所定のもの）
- ・医師の診断書等（オーディオグラム等を含む）
- ・大学入試センター試験の「身体障害者等受験特別措置決定通知書」のコピー

VII-4 個人情報の取り扱いについて

- 1 出願に当たり知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- 2 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用することがあります。
- 3 上記1及び2の各種業務での利用に当たり、一部業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
については、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
- 4 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受付番号、大学入試センター試験の受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
- 5 出願に当たり知り得た個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

VII-5 入試情報の提供について

- 1 本選抜試験の結果等（志願者数・合格者数等の公表資料）については、平成23年4月以降本学ホームページ、次年度大学案内（8月上旬配布予定）等において公表します。
また、4月上旬より合格者の最高得点及び最低得点を類別に本学ホームページに掲載します。
- 2 各教科・科目の採点・評価基準

教科・科目	採点・評価基準
数学	論理的な思考を行うことができ、それが的確に記述できるかをみる。
物理	実験に即した問題等を出題し、物理学の基本概念をしっかりと身につけたうえでの応用力、論理的思考力を問う。 現象の背後にある物理の概念・法則に関する説明を求める。 最終的な答えだけではなく導出過程を重視する。
化学	無機化学、物理化学、有機化学などの幅広い分野から、基本概念や実験に即した知識と論理的思考ができるかどうかを問う。
英語	長文を中心とする総合問題を出題し、平易な英文を読解する能力、基本語を中心とする語彙に関する知識、標準的な英語文法に関する知識、簡明な英文を書く能力を見る。
ドイツ語	基本的なドイツ語の知識を前提に、独文和訳・独作文・総合問題を出題する。 ドイツ語を読み・書く能力が中心に問われるが、文法的知識だけではなく、論理性、想像力、表現力も評価の対象とする。 出題は新正書法に基づくが、解答は新旧いずれの方式でも認める。
フランス語	長文読解は、日常生活から時事的話題まで、広い範囲から出題される。難しい語には注釈をつけるが、基本的な語彙、文法知識は不可欠である。 また5～10行のフランス語作文においては論理性、独創性も見る。 日頃からフランス語の新聞、雑誌に親しんでいるとよい。

- 3 平成23年度入学者選抜試験における個人別成績の提供について

(1) 提供内容

- ① **受験者本人（代理人は認めない。）からの請求に基づき提供します。**
- ② 個人別成績の内容は、前期日程・後期日程試験の各科目別得点を提供します。また、大学入試センター試験の成績は、第1段階選抜もしくは個別学力検査等（第2段階選抜）で設定している各教科の配点に圧縮し提供します。
ただし、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった者の成績提供は行いません。
- ③ 個別学力検査等受験者については、第1段階選抜の試験成績は提供しません。

(2) 請求手続

希望の有無を志願票に記入すること
希望する者は、送付用封筒に請求者の住所、氏名を明記し、380円分の切手を貼付して同封すること（「 <input type="checkbox"/> 希望します。」にチェックがあり送付用封筒を同封した者にもみ簡易書留で送付する）

(注1) 5月中旬頃送付予定です。

(注2) 志願票のチェック欄が未記入の場合もしくは送付用封筒が同封されていない場合は、成績提供が出来ません。

VII-6 奨学金，入学料・授業料免除等

1 奨学金

人物及び学業優秀で，経済的な理由により修学困難な者に対して，選考のうえ，奨学金が貸与又は給与されます。

①（独）日本学生支援機構（貸与）

第一種奨学金（無利子）と，第二種奨学金（有利子で卒業後3%（上限）の年利率），入学時特別増額貸与奨学金（有利子）の制度があります。

貸与月額，第一種では30,000円か45,000円の自宅通学者対象と30,000円か51,000円の自宅外通学者対象があります。第二種では30,000円，50,000円，80,000円，100,000円，120,000円の5種類から選択できます。入学時特別増額貸与奨学金では，100,000円，200,000円，300,000円，400,000円，500,000円の5種類から，1回限りで申請できます。

②その他の育英奨学団体（貸与又は給与）

（独）日本学生支援機構以外に，地方公共団体，民間育英事業団体等約80の奨学団体による奨学金制度があります。奨学金の月額貸与又は給与の別は，団体により異なります。

2 入学料免除

入学前1年以内において，本人の学資を主として負担している者が死亡し，又は本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受け，入学料の納付が著しく困難であると認められる場合，選考のうえ，入学料の半額が免除されます。

その具体的な手続等については，合格した際に交付される関係書類でお知らせしますが，入学手続日に申請することとなります。

3 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり，かつ学業優秀と認められる者については，選考のうえ，前期又は後期ごとに授業料の全額又は半額が免除されます。上記の入学料免除対象者でも選考のうえ，授業料の全額又は半額が免除されます。具体的な手続等については，合格した際に交付される関係書類でお知らせしますが，4月1日（金）・4日（月）に学務部学生支援課（西8号館E棟102号室）の窓口で申請することとなります。

4 入学後の住居

(1) 学生寮（^{ショウフウガクシャ}松風学舎）

①概要

松風学舎（東急田園都市線青葉台駅下車徒歩約10分）は，^{マツカゼダイ}横浜市青葉区松風台21-13に所在し，大岡山キャンパスまでは田園都市線及び大井町線を利用し約1時間で通学できます。

寮生活に必要な経費は，寄宿料が月額4,700円，その他光熱水費等の私生活に要する経費は，月額平均約5,000円で，寮生負担となります（自炊施設があります）。

②募集人員等

新入生の募集人員は男子学生（外国人留学生を除く）20名程度で，入居期間は2年以内です。選考基準は，経済的条件・地理的条件（遠隔地である）等です。

③入居募集要項・案内請求方法等

入学試験前に募集を行います。入居希望者は次の期間に募集要項を請求してください。

ア 請求開始：平成22年10月中旬

イ 請求方法：郵送の場合は，下記宛先に「松風学舎募集要項請求」と朱書きした封筒に，返信用封筒（角形2号に請求者の住所，氏名を明記し，200円分の切手を貼付のこと）を同封の上送付してください。

ウ 請 求 先 : 〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-1-2-1-W8-102
東京工業大学学務部学生支援課生活支援グループ

(2) 洗足池国際交流ハウス

①概要

洗足池国際交流ハウス（東京都大田区南千束 1-29-1）は、大岡山キャンパスから徒歩 15 分の位置にあります。女子学生、女子研究員が入居できます。部屋は和室（1 人用）、洋室（2 人入居可）があります。

寮生活に必要な経費は、入居時に入居料（1 ヶ月分の施設使用費）、施設使用費月額 44,800 円（1 人入居）、24,000 円（2 人入居で 1 人当たり）、共益費（光熱水費込み）月額 5,000 円です（自炊施設あり）。

入居期間は原則 2 年以内です。

②入居案内

空室状況は平成 23 年 2 月以降に学生支援課生活支援グループまでお問い合わせください。

(3) Tokyo Tech Aobadai House

①概要

Tokyo Tech Aobadai House は、前記松風学舎 1 階の一部を改修し、男子学生用宿舎として平成 19 年に設置されました。男子学生、男子研究員が入居できます。洋室が 16 室あり、室内には机、イス、キッチン等生活に必要なものを完備しています。

寮生活に必要な経費は、入居時に入居料（1 ヶ月分の施設使用費）、施設使用費月額 42,000 円、共益費月額 2,100 円、光熱水費です。

入居期間は 1 年以内です。

②入居案内

空室状況は平成 23 年 2 月以降に学生支援課生活支援グループまでお問い合わせください。

(4) 貸間・下宿

本学では貸間・下宿等の紹介を東京工業大学生活協同組合で行っています。

（電話 03-3728-8023、ホームページ <http://www.titech-coop.or.jp>）

なお、間借り又は下宿をすると、月額約 30,000 円(4.5 畳)～60,000 円(6 畳)の部屋代が必要です。

また、入居時には、部屋代とは別に礼金、敷金として部屋代の 1 ヶ月～2 ヶ月分相当の費用が必要です。

5 学生教育研究災害傷害保険

学生の教育・研究活動中の災害救済を目的として、学生教育研究災害傷害保険があります。補償範囲は、正課中、学校行事中、通学中、キャンパス内での休憩中及び課外活動中の事故による傷害及び死亡が対象となっています。

※問い合わせ先：東京工業大学学生支援課（大岡山キャンパス西 8 号館 E 棟 102 号室）

○奨学金、入学料・授業料免除等 担当：経済支援グループ 電話 03-5734-3014

○学生寮、保険等 担当：生活支援グループ 電話 03-5734-3013, 3015

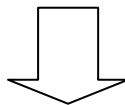
VIII 平成24年度入学者選抜試験における「大学入試センター試験」 利用教科・科目について（予告）

本学では、平成24年度個別学力検査より「大学入試センター試験」利用教科・科目のうち、
地理歴史及び公民を下記のとおり変更します。

【現 行】

教 科	科 目
地理歴史 ・公 民	「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「現代社会」，「倫理」， 「政治・経済」から1科目

※「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した場合には、高得点の科目を用いることとする。



【変更後】

教 科	科 目
地理歴史 ・公 民	「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「現代社会」， 『倫理，政治・経済』から1科目

※「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した場合には、高得点の科目を用いることとする。

IX 平成24年度入学者選抜試験の変更について（予告）

平成24年度入学者選抜試験より，選抜方法を次のとおり変更します。

学部	類	前期日程	後期日程	推薦入試	AO入試
理学部	第1類	○	—	○	—
工学部	第2類	○	—	—	○
	第3類	○	—	—	○
	第4類	○	—	—	○
	第5類	○	—	—	○
	第6類	○	—	—	○
生命理工学部	第7類	○	○	—	—

※詳細は，「平成24年度入学者選抜要項」にて確認してください

X 記入要領

出願書類の提出について

1. 試験日程ごとの『出願手続』ページを読み、必要書類を整えましょう。

2. 例年、以下の記入漏れ等がありますので、特に注意してください。

- ・ 志望類、の記入漏れ
- ・ 「確認はがき」や「連絡用封筒」の住所等の記入漏れや切手貼り忘れ
- ・ 「センター試験成績請求票」や入学検定料「振替払込受付証明書(お客さま用)」の貼り忘れ

次ページからの記入要領をよく読み、指定された枠内に記入・のり付けをしてください。

3. 最後に「出願書類送付用封筒」の裏面にあるチェックリストで、再度必要書類を確認してください。

4. 本学指定の書類

出願書類送付用封筒
連絡用封筒

} 前期日程（黄色）、後期日程（水色）

入学志願票・電算処理票、
確認はがき
住所票

} 前期日程（文字がオレンジ色）、後期日程（文字が緑色）

成績送付用封筒（希望者）

} 前期日程（オレンジ色）、後期日程（青色）

入学検定料（払込取扱票）・・・ 前期・後期日程同一様式（前期・後期の区別はありません）

大学入試センター試験受験教科・科目の確認表（前期日程）

1. 受験教科・科目の詳細については、7ページ「V-2 入学者選抜方法」を参照してください。
2. 本学が指定した大学入試センター試験の教科・科目を受験しているか、下表より確認してください。記入欄に、受験した場合には○印、していない場合には×印をつけてください。

記入欄にすべて○印が付いた場合は、すべての類に出願することができます。

記入欄に1つでも×印が付いた場合は、いずれの類にも出願することができません。

教 科	記入欄	科 目			
国 語		国語を受験した。			
地理歴史 ・公 民		世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理，政治・経済から 1科目を受験した。			
数 学		<table style="border: none; width: 100%;"> <tr> <td style="border: none;"> 数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B，工業数理基礎から1科目 </td> <td style="border: none; font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="border: none; vertical-align: middle;">合計2科目を受験した。</td> </tr> </table>	数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B，工業数理基礎から1科目	}	合計2科目を受験した。
数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B，工業数理基礎から1科目	}	合計2科目を受験した。			
理 科		物理Ⅰ，地学Ⅰ，化学Ⅰ，生物Ⅰから2科目を受験した。			
外 国 語		英語(リスニングを含む)，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から 1科目を受験した。			

大学入試センター試験受験教科・科目の確認表（後期日程）

1. 受験教科・科目の詳細については、13ページ「VI-2 入学者選抜方法」を参照してください。
2. 志望する類が指定した大学入試センター試験の教科・科目を受験しているか、下表より確認してください。記入欄に、受験した場合には○印、していない場合には×印をつけてください。

志望する類の記入欄にすべて○印が付いた場合は、出願することができます。

志望する類の記入欄に1つでも×印が付いた場合は、志望する類に出願することができません。

（第2類を志望）

教科	記入欄	科目	目
国語		国語を受験した。	
地理歴史・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 倫理, 政治・経済から1科目を受験した。	
数学		数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B, 工業数理基礎から1科目	} 合計2科目を受験した。
理科		物理Ⅰ, 化学Ⅰの2科目を受験した。	
外国語		英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。	

（第3類・第5類・第6類A又はBを志望）

教科	記入欄	科目	目
国語		国語を受験した。	
地理歴史・公民		世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 倫理, 政治・経済から1科目を受験した。	
数学		数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B, 工業数理基礎から1科目	} 合計2科目を受験した。
理科		物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 地学Ⅰ, 生物Ⅰから2科目を受験した。	
外国語		英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。	

（第4類・第7類を志望）

教科	記入欄	科目	目
数学		数学Ⅰ・数学Aの1科目 数学Ⅱ・数学B, 工業数理基礎から1科目	} 合計2科目を受験した。
理科		物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 地学Ⅰ, 生物Ⅰから2科目を受験した。	
外国語		英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験した。	

つく ひら りけいびと

創り拓く理系人たれ

——入学希望者へ

遠く宇宙の果てへの探究から微細なナノ・スケールでの造形まで。あるいは抽象思考の極北を旅する純粋数学の凜とした美しさから、フラスコにひそやかに息づく生命の温もりまで。およそ「自然」なるもののすべてを相手どる理系分野の学問は、とてつもない広がりをも有します。かつ、その卓越した発想や技法は今や文系分野の学問にも浸透し、新たな地平を切り拓きつつあります。

そうした無限の広がりとも可能性へのたゆまぬ挑戦。我が国を牽引する理工系総合大学としての使命感を胸に、1881年創立という長い伝統からゆたかな叡智を汲み上げ、世界各国の大学や研究機関と緊密な連携を組み合わせながら、本学は日々、前人未踏の革新へと挑んでいます。

目線は高く人類の未来を見すえ、地球環境との調和を考えつつ、しかし、手はつねに動いて、ネジ一つの工夫で今日よりも明日を快適にする道をさぐっています。

その本学が入学者に期待する資質は、ただの二つです。

1. 理系であることに自信を持っていること。
2. 理系であることに誇りを持っていること。

得意な分野は数学でも物理でも化学でも、あるいはこれらを応用して、さまざまな創造を試みる工学的な諸分野のどれかでも構いません。とことん好きで、これなら負けないと自信を持てる足場をしっかりと自らの内に築いておいていただきたい、というのが一つめの希望です。その足場から、すくすくと関心を広げ、文系理系を問わない奥深い専門性や独創性へと導かれゆく扉は、本学の教育カリキュラムの中にたくさん開かれています。

そして、理系科目が好きであるのと同様に、理系である自分自身をも好きでいていただきたい、というのが二つめの希望です。果てしない広がりを持つ自然科学という学問を選んだ自分の選択に誇りを持ち、掲げるに足る目標を見つけ出して敢然と登攀して下さい。本学には、専門性へと没入するあまり自らの位置を見失ってしまわないよう、社会的な観点や文化的な感性を培うための研鑽の機会も、ふんだんに設けられています。

荒れ地に種を蒔く開拓者たる勇気を——。東京工業大学は、たくましく挑戦的な理系精神を強く求めます。

○問い合わせは志願者本人が行うこと

東京工業大学 学務部入試課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-1-2-1-W8-103

TEL (03)5734-3990 (平日 9:00~17:15 (12:15~13:15除く))

○入試に関する最新情報

東京工業大学ホームページ <http://www.titech.ac.jp/>

「高校生・受験生の方へ」 <http://www.titech.ac.jp/prospect/index.html>

- ・ 出願期間中の志願状況等について：1月24日(月)~2月2日(水)の土日を除く
各日17時頃更新
- ・ 追加合格に関する情報について：3月27日(日)18時以降

○携帯電話サイト

本学の各種情報が携帯電話でも見られます。

【QRコード】



※対応する携帯電話で読み取れます。

